

## 各種目専門部指導者紹介



山本 義明

**専門部名** ラグビー  
**勤務校** 県立浦和高校  
**担当教科** 保健体育  
**趣味・人生観等**  
いつでも笑顔を絶やさない人間でいたい。



若林 美絵

**専門部名** ソフトボール  
**勤務校** 県立川越女子高校  
**担当教科** 保健体育  
**趣味・人生観等**  
映画、ドラマ鑑賞・物事は全てシンプルに考える



山岸 由実

**専門部名** ソフトテニス  
**勤務校** 川口市立高校  
**担当教科** 数学  
**趣味・人生観等**  
ソフトテニスをする事、読書



山本 竣太

**専門部名** 水泳（水球）  
**勤務校** 秀明英光高校  
**担当教科** 体育  
**趣味・人生観等**  
スポーツ観戦



中田 愛海

**専門部名** 水泳（競泳）  
**勤務校** 県立草加東高校  
**担当教科** 数学  
**趣味・人生観等**  
趣味は読書です。



浜野 啓史

**専門部名** バドミントン  
**勤務校** 県立草加南高校  
**担当教科** 地歴公民  
**趣味・人生観等**  
釣り  
「優れた人は静かに身を修め、徳を養う。」



小池 竜平

**専門部名** バドミントン  
**勤務校** 県立草加高校  
**担当教科** 数学  
**趣味・人生観等**  
高校生を本気で応援したくて教員になりました！頑張れ高校生！



大島 友佳

**専門部名** ダンス  
**勤務校** 栄北高校  
**担当教科** 保健体育  
**趣味・人生観等**  
ダンス、旅行・どんなことにも前向きに取り組む、感謝の気持ちをもって行動する。

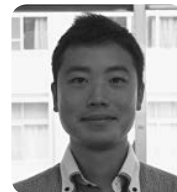
# 研究部活動報告

研究部部长



久保 浩  
(志木高等学校長)

研究部委員長



津田 孝弘  
(岩槻高等学校)

## 研究部活動報告ならびに今後の展望

委員長 津田 孝弘

### 1 第1回委員会

期 日 5月30日(火曜) 13:00  
会 場 県立武道館第一・第二会議室  
内 容 ・令和4年度事業・決算報告  
・役員改選  
・令和5年度事業計画、予算審議  
・各分科会協議・報告  
・令和6年度全国高体連研究大会について

### 2 第2回委員会

期 日 7月7日(金曜) 14:00  
会 場 県立武道館第一・第二会議室  
内 容 ・委員長より  
・各分科会協議・報告

### 3 第3回委員会

期 日 11月6日(月曜) 14:00  
会 場 スポーツ総合センター  
内 容 ・委員長より  
・各分科会協議・報告

### 4 第4回委員会

期 日 12月11日(月曜) 14:00  
会 場 県立武道館第一・第二会議室  
内 容 ・委員長より  
・各分科会協議・報告

### 5 高体連加盟高校部員数入力作業

期 日 12月4日(月曜)  
会 場 埼玉県高体連事務局 14:00  
※今年度より、データ処理をマクロ化、大幅に時間短縮  
作業:津田(岩槻)

### 6 県保健体育研究協議会打ち合わせ

期 日 1月16日(火曜)  
会 場 オンライン 14:00~  
内 容 ・役員分担  
・係ごと打ち合わせ

### 7 令和5年度県保健体育研究協議会

期 日 1月31日(水曜)  
会 場 オンライン 10:00~

### その他の活動

#### ◎関東高体連研究部委員長会議

期 日 7月14日(金曜) 13:00  
会 場 神奈川県立スポーツ会館  
内 容 ・各都県の活動・近況報告  
・その他

#### ◎全国高体連研究部委員会・会議

期 日 1月17日(水曜) 15:00  
会 場 とりぎん文化会館

#### ◎全国高体連研究大会

期 日 1月18、19日(木曜、金曜)  
会 場 とりぎん文化会館

全国高等学校体育連盟研究大会は全国を8ブロックに分け、それぞれの地域の県を中心に年1回開催される。来年度が59回大会となり本県での開催予定である。今年度の鳥取大会では、来年度に本大会が本県開催となるため、合計10名で視察を行った。

今年度の研究部の活動では、昨年度から引き続き、継続的で多面的な研究、専門部の枠にとらわれない研究を行うため、研究部委員を三分野のグループに分け、研究を進めている。第一分科会の「競技力向上」では、各専門部全顧問を対象にアンケートを実施し、部活動指導員および外部指導者に関する各校顧問のニーズと現状につ

いて調査・分析中である。第二分科会の「健康と安全」では、事故予防・対策マニュアルの作成を進めている。第三分科会の「部活動の活性化」では、部活動名から探す高校案内（仮称）の作成を計画している。この体制での活動では、委員会への出席が難しい場合にも、メールでのやり取りを通して、研究に参加でき、複数の視点からアプローチすることでより深い考察が可能になると考えていたが、まだうまく機能していないというのが現状である。部活動の変革が求められている昨今、部活動のデメリットが表に出ることが多く、メリットに関するエビデンスが示されることはあまりなく、その数も少ない。理由として部活動のメリットは在学中に示されるものばかりではなく、数字や目に見えるものとして示されるものばかりではないことが挙げられる。この体制の中で、デメリットだけでなく、メリットに関するエビデンスとして示していけることを狙いとした変革である。令和6年度には、第一分科会の「競技力の向上」が全国高体連研究大会にて、発表することが決まっており、今年度のアンケート調査に加え、追調査を実施する予定である。春の顧問総会において実施を予定しており、前回データ数が少なく、分析に正確性がなかったため、今回は全顧問に回答してもらえよう各専門部委員長に御協力をお願いしているところである。

令和6年度の全国高体連研究大会の埼玉開催に向け、今年度、大会準備委員会を立ち上げ、大会主題、全体講演講師、リーフレットの作成、各分科会助言者の検討、高文連との交流事業等々の準備を進めた。来年度には実行委員会が発足し、本大会で業務にあたっていただくことになる。現在の研究部員だけでは、人手が足りないため、各専門部には、この実行委員会への増員をお願いしている。

研究部委員の活動は、校務、部活動指導で忙しい先生方をお願いしているのが現状である。各専門部においても役職に就いていたり、人数が少ない専門部であっても一名の選出をお願いしている。その中でも、熱心に研究活動を行っていただいていることに感謝申し上げます。忙しい中での活動になり心苦しい点はあるものの、研究という地道な行動を続けていくためにも、今後とも御協力をお願いしたい。これから、研究部の活動に興味を持ち、ともに活動する仲間が増えることを願うばかりである。

# 定 通 部

定通部部长



久住 毅  
(朝霞高等学校長)

定通部副部长



小茂田 佳郁  
(吹上秋桜高等学校副校長)

東部地区副部长

井上 輝也 (越ヶ谷高等学校副校長)

南部地区副部长

金田 智 (戸田翔陽高等学校教頭)

西部地区副部长

原田 全 (飯能高等学校教頭)

## 令和5年度のまとめ

筆頭副部长 小茂田 佳郁

令和5年度高体連定通部は、朝霞高等学校 久住 毅校長が定通部長、4名の副校長・教頭が副部长を務め、児玉 賢一委員長(浦和高等学校)を中心とする役員が主体となり各種体育・スポーツ大会等の運営に当たりました。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、一昨年度は県民総合スポーツ大会高等学校定時制通信制の部のみが縮小された形式で開催され、昨年度は、感染症対策を徹底した上で、すべての大会が開催されました。令和5年度は、制限もなく通常の形で大会が開催されましたことは、大変喜ばしいことであります。

さて、本年度定通大会は、各会場で生徒たちの活気あるプレーや真剣かつ一生懸命な姿を見て感動しました。生徒の日々の努力に心から賞賛を送るとともに、熱心に御指導いただいている顧問の先生方・関係者の方々に深く感謝を申し上げます。

定通部の活動は、例年、主要な大会は次の2つであり、①及び②の大会が開催されました。

①埼玉県高等学校定時制通信制総合体育大会兼全国高等学校定時制通信制体育大会埼玉県予選会

(5月～7月)

※全国高等学校定時制通信制体育大会

(7月下旬～8月下旬)

②県民総合スポーツ大会高等学校定時制通信制の部

(9月～11月)

※全国大会上位入賞者による教育長表敬訪問

(2月6日)

なお、新人大大会が(1月～2月)に予定されています。

開催に当たりますは、埼玉県定時制及び通信制教育振興会からの支援を受けるとともに、県教育委員会と県

高等学校体育連盟の御指導、また高体連定通部事務局や各競技専門委員長の献身的な大会運営、各学校顧問の先生方の協力により、多くの成果を収めることができたことに御礼申し上げます。

以下に定通部の活動内容と大会の結果を報告します。

### 1 会議

#### (1) 第1回高体連定通部役員会・定通部会

・期日 5月1日(月) 於: 県立上尾高等学校

#### (2) 第2回高体連定通部役員会

・期日 9月5日(火) 於: 県立上尾高等学校

#### (3) 第3回高体連定通部役員会

・期日 12月8日(金) 於: 県立上尾高等学校

### 2 競技会

#### (1) 埼玉県高等学校定時制通信制総合体育大会兼全国高等学校定時制通信制体育大会県予選会

・期日 令和5年5月13日(土)～7月1日(土)

・会場 上尾運動公園陸上競技場 他

#### (2) 全国高等学校定時制通信制体育大会

・期日 令和5年7月28日(金)～8月21日(月)

・会場 駒沢オリンピック公園総合運動場 他

#### (3) 県民総合スポーツ大会高等学校定時制通信制の部

・期日 令和5年9月10日(日)～11月4日(土)

・会場 上尾運動公園陸上競技場 他

### 3 各専門委員会の競技成績及び所感

#### ア 陸上競技

(ア) 期間 8月11日(金)～8月13日(日)

(イ) 会場 駒沢オリンピック公園陸上競技場

(ウ) 成績

男女総合成績 8位

男子総合成績 7位

男子トラック 7位

<男子>

400m H 長原（狭山緑陽） 優勝 59秒68  
 4 × 100m R 埼玉県選抜（前原－遠藤－長原－平岡）  
 4位 44秒47  
 4 × 400m R 埼玉県選抜（長原－平岡－鬼木－蓬田）  
 3位 3分37秒39

<女子>

200m 華岡（クラークさいたま）  
 5位 30秒28  
 400m 齊藤（吹上秋桜） 6位 1分11秒79  
 100m H 番場（吹上秋桜） 8位 20秒96  
 走高跳 小松（狭山緑陽） 6位 1m20  
 澄川（狭山緑陽） 8位 1m10  
 4 × 100m R 埼玉県選抜（番場－華岡－斎藤－登坂）  
 8位 59秒23

6月の定通総体兼全国定通大会県予選会は、猛暑の中で競技が行われたが、体調不良者も出ることがなかった。本大会は、競技日程に余裕を持たせる、長距離種目で給水所を設けるなどの工夫を行なったのはもちろん、各校・各選手が十分な新型コロナウイルスの感染症対策、熱中症予防をしてくれたため、大きな事故・怪我もなく、無事に大会を終えられた。

今年度は、数年前に比べて特に出場校が減ったように感じた。我が国全体の陸上競技の競技人口は年々増えているものの、定通陸上は全国規模で減っているとのことだった。出場校が少ない中、出場選手自身が競技運営に協力してくれたが、定通陸上を盛り上げるため、もう少し出場校があればよいと感じる。総合成績では、男子は狭山緑陽、女子は西武学館が優勝を果たした。

7月下旬に、全国定通大会に向けた結団式と合同強化練習会を行った。結団式では埼玉県選手団の団長と副団長を決め、全国大会への意気込みを語った。その後の強化練習会では、団長・副団長を中心にアップを行わせ、種目別に分かれて練習を行った。リレー選手団では昨年の反省を生かし、バトンパス、ルールを改めて確認をした。選手主体で選手団全体を動かしたことで、一人ひとりの親睦が深まったように感じた。

8月の全国定通大会は、駒沢オリンピック公園陸上競技場で行われた。8種目で選手が入賞を果たし、総合成績も男女総合8位の成績を収めることができた。長原（狭山緑陽）は2種目において表彰台にのぼり、埼玉県の総合成績に大きく貢献した。特に、優勝した400m Hは圧巻であった。昨年残念ながら失格になってしまった、女子4 × 100m R、男子4 × 400m Rでは、8位入賞、3位表彰台と、昨年の悔しさをバネに、今年は結果を残す

ことができた。

10月の県民総体は、6月に比べて少ない参加状況であった。当大会は各校顧問のみで運営をしなければならない大会であり、出場校が少なく、ぎりぎりの大会運営であったものの、選手の活躍する舞台を整えることができた。総合成績では、男女ともに西武学館が優勝を果たした。



全国大会・男子4 × 400m R 第3位表彰の様子  
 前から 蓬田（大宮工業）・長原（狭山緑陽）  
 平岡（吹上中央）・鬼木（狭山緑陽）



全国大会・男子400m H 決勝・狭山緑陽・長原  
 （専門委員長 大浦 巧 飯能高等学校）

イ 軟式野球

- (ア) 期間 8月16日（水）～8月20日（日）
- (イ) 会場 明治神宮野球場他
- (ウ) 成績

埼玉県立大宮中央高校（通） ベスト8進出  
 1 回 戦 10－1 札幌南・札幌工業高校  
 2 回 戦 10－0 日々輝学園・横浜  
 準々決勝 4－11 星槎国際高校・東京

【埼玉県定通総体兼全国定通大会県予選会】

新人戦を5月中旬に行い、5月末より開催となった定通総体。前年度の県民総合スポーツ大会と同様の参加校数16校11チームが出場した。昨年度全国大会で3位となった強豪の清和学園高校をはじめ、レベルの高い野球を

展開するチームが多い中、大会を制したのは大宮中央高校（通）であった。投打にタレントを揃え、非常にバランスの取れたチームであった。2回戦を不戦勝で勝ち上がると、準決勝では昨年度全国大会3位の大川学園を9-2の6回コールド勝ちで下す。勢いそのままに決勝戦で日々輝学園相手に9-5と接戦を展開し、見事勝利を収め、8回目の全国大会出場の切符を手に入れた。

#### 【第70回全国高等学校定時制通信制軟式野球大会】

15大会連続優勝を果たしている奈良県・天理高校の対抗馬の一角と目されていた大宮中央高校（通）は、初戦の北海道代表・札幌南・札幌工業高校に対し、埼玉県大会での戦いぶりそのままに10-1のコールド勝ちを収める。2回戦の対日々輝学園・横浜との試合でも10-0と投打がかみ合った戦いを披露。準々決勝に駒を進めた。準々決勝では優勝候補の一角と目されている東京都・星槎国際高校と対戦。初回の失点が響き4-11で敗退となった。今大会の決勝戦は東京第1代表と東京第2代表との試合であった。15連覇を果たしている天理高校の牙城が崩れるという波乱の全国大会となったが、来年度悲願の優勝旗を埼玉県に持って帰りたいところである。

#### 【第36回県民総合スポーツ大会】

定通総体より2校減り、14校11チームでの開催となった。今年度圧倒的な力を見せている大宮中央に対するのはどこかという部分に注目の集まる大会となった。その中でもやはり大宮中央は順当に勝ち上がり、決勝戦は奇しくも定通総体と同じ顔触れの、大宮中央高校と日々輝学園高校の対戦となった。定通総体の雪辱を晴らしたい日々輝学園高校であったが、結果は地力の強さを示した大宮中央高校が11-1で勝利し2冠を達成した。

ここ数年で強く感じていることであるが、全国の中でも埼玉県は強豪の部類に入る。全国大会で上位進出を果たすことのできる学校が増えている一方、部員が少なく、大会への出場が危ぶまれる学校も多い。野球の裾野を広げるという意味でも、大会実施方法等も含めて検討していく必要があると考えている。

今年度無事に全ての大会を終えることができた。大会運営に携わっていただいた全ての方に感謝申し上げます。



（専門委員長 木持 雄大 川口工業高等学校）

## ウ ソフトテニス・テニス

### 【埼玉県定通総体兼全国定通大会県予選会】

埼玉県定通総体は6月11日に開催予定であったが、雨天により延期となり、6月17日に開催となった。全国大会へと繋がるソフトテニスは、リーグ戦の後、上位6ペアによる決勝トーナメントを実施。男子は大嵩・菊地（狭山緑陽）、女子は丸上・瀧島（清和学園）が優勝した。全国大会個人戦のメンバーとして男女各上位4ペアが選出され、団体戦のメンバーとしては個人戦上位ペアや敗退したものの実力が認められた男女各8名が選出された。テニスは、ダブルスの部男子で脇田・三津間（吹上秋桜）、女子は新井・鎌田（吹上秋桜）が優勝し、シングルの部男子は仙波（松栄学園）、女子は新井（吹上秋桜）が優勝した。

### 【全国高等学校定時制通信制体育大会】

今年度の定通総体は、8月8日～10日にかけて有明テニスの森公園（東京）で開催された。新型コロナウイルスで感染対策が取られていた昨年度までと違い、声出しや観客の制限がなくなるなど久々の通常開催の大会となった。また、初日はショーコートで出場選手が一同に揃うかたちでの開会式を実施することができた。2日目、団体戦の日は雨が激しく降ったり止んだりの悪天候となった。試合中の中断も相次ぎ、男子団体の初戦となる2回戦でも天候による中断が何度も入った。試合は、最終戦のファイナルゲームまでもつれる接戦となったが、静岡に競り負け初戦敗退となった。女子団体は2回戦、3回戦と順調に勝ち進むも、準決勝で愛知に敗れた。しかし、3位入賞という好成績を残すことができた。3日目の個人戦には男女各4ペアが出場し、男子は3ペアが初戦敗退となるも、大嵩・菊地（狭山緑陽）が4回戦まで進出することができた。女子は須永・松島（羽生）が4回戦まで進出し、丸上・瀧島（清和学園）が5回戦進出でベスト8という成績を収めることができた。

昨年度と比べると成績を落とすことになったが、各生

徒の力が存分に発揮された大会であったと思う。また、応援の規制もなくなったことで、生徒の保護者や友人が応援に来ており、各校の顧問の先生の指導をはじめとする多くの人の支えを感じることができる大会となった。

#### 【県民総合スポーツ大会】

県民総合スポーツ大会は、10月8日に大宮第二公園テニスコートで実施された。3年生の出場が減ったなかで、男子11ペア、女子7ペアの出場があった。ソフトテニスの男子は今尾・平井（羽生）、女子は丸上・瀧島（清和学園）が優勝した。テニスでは、ダブルスの部男子で橋本・早野（松栄学園）、女子は新井・小野寺（吹上秋桜）が優勝し、シングルの部男子では仙波（松栄学園）、女子は新井（吹上秋桜）が優勝した。

3年生が少なくなったことも重なり、出場ペア数の減少が課題となっている。しかし、出場ペアは皆上位を目指して全力でプレーしており、次に繋がる大会になったと感じている。



（専門委員長 島田 勝彦 浦和第一女子高等学校）  
（原稿作成 小柳 敦史 清和学園高等学校）

## 工 卓球競技

### （1）令和5年度定通総体県予選

日程：令和5年5月21日（日）個人戦  
令和5年5月28日（日）団体戦

会場：上尾運動公園体育館

### （2）令和5年度強化練習会

日程：令和5年7月16日（金）

会場：川口市立高校

※全国大会出場選手のみ参加

### （3）全国高等学校定通制体育大会 第55回卓球大会

日程：令和5年7月26日（火）～7月28日（木）

会場：駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館

### （4）令和5年度県民総合スポーツ大会

日程：令和5年10月15日（日）個人戦

令和5年10月22日（日）団体戦

会場：上尾運動公園体育館

### （5）令和6年度新人大会 ※現時点での予定

日程：令和6年1月28日（日）個人戦

令和6年2月10日（日）団体戦

会場：上尾運動公園体育館・スポーツ総合センター

#### 【埼玉県定通総体兼全国定通大会県予選会】

定通総体県予選は、新型コロナウイルス感染防止対策を一部講じた上で実施した。大会の参加登録は、男子個人戦が55名、女子個人戦が10名、男子団体戦が10校、女子団体戦が2校であった。（当日棄権は除く）

個人戦は、男女ともシードの選手が力を発揮する中、男子は星槎国際高校（大宮）の選手が初優勝と、女子は秋桜高校の選手が昨年の雪辱を果たし優勝。また、クラーク記念国際高校（所沢）の女子選手もベスト4に入ってくるなど、新しい選手も活躍した個人戦になった。

男子団体戦では、武蔵野星城高校が去年の雪辱を果たし、清和学園高校を破り優勝を果たした。女子団体戦では、吹上秋桜高校、大宮中央高校（単通）合同チームとクラーク記念国際高校（所沢）2校のみの参加でしたが、総合力の高さを見せた吹上秋桜高校、大宮中央高校（単通）が優勝を果たした。

全国大会出場を目指して全力でプレーする選手の姿を見ることができ、素晴らしい大会となった。

#### 【全国高等学校定時制通信制体育大会】

埼玉県からは個人戦で男子4名、女子4名、団体戦で男女1チームずつ出場した。女子個人戦では、戸田翔陽高校の選手がベスト16という素晴らしい成績を残し、その他の選手についても、全国の強豪を相手にそれぞれがベストを尽くし戦い抜くことができた。団体戦についても、男子が3回戦敗退、女子がベスト4と埼玉県のレベルの高さが見られた大会になった。

#### 【県民総合スポーツ大会】

県民総合スポーツ大会は、定通総体県予選と同様に新型コロナウイルス感染防止対策を一部講じた上で開催した。大会の参加登録は、男子個人戦が63名、女子個人戦が13名、男子団体戦が10校、女子団体戦は参加校0の為、実施せず。(当日棄権は除く)

男子個人戦では、日々輝学園高校の選手が、クラーク記念国際高校(所沢)の選手を決勝で破って初優勝を果たした。女子個人戦では、大宮中央高校(三通)の選手が初優勝を果たした。

男子団体戦では、清和学園高校が個々のレベルの高さを発揮して定通総体県予選の雪辱を果たし、優勝を飾った。女子団体戦は参加校が0のため、実施できなかった。

今大会も保護者の入場が認められ、当日は選手のプレーに多くの拍手が送られた。今回の大会が卒業生にとっては最後の大会であった。1月の新人戦では新しい選手の活躍に期待したい。

#### 【おわりに】

新型コロナウイルスの感染は落ち着いておりますが、一部対策を行い実施しております。今年度も、各校顧問、関係者の方々、選手の皆さんの御協力のおかげで、無事に大会を開催することができました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



上尾運動公園体育館の様子(県民総合スポーツ大会)



試合の様子(定通総体県予選)  
(専門委員長 松永 貴則 春日部高等学校)

## オ 柔道

### 【埼玉県定通総体兼全国定通大会県予選会】

今年度の定通総体県予選は、昨年度と同様に埼玉県立戸田翔陽高等学校で5月14日(日)に開催することになった。

今年度も出場選手が少なく、出場登録があったのが男子75kg級の小野太雅選手(戸田翔陽)と男子90kg超級の鬼塚真輝選手(日々輝学園)の2人のみだった。そのため、二人とも各階級において不戦勝で優勝となった。その後、小野選手と鬼塚選手が参考試合を行い、鬼塚選手が払腰で1本を取って勝利した。

この二人に加えて、諸事情によりこの大会に出場出来なかった男子90kg級の伊藤大樹選手(大宮中央(通信))と女子63kg級の八田彩佳選手(戸田翔陽)が協議の結果、全国大会への出場者となった。

### 【第54回全国高等学校定時制通信制柔道大会】

全国大会は今年度も例年通り講道館で8月6日(日)に開催された。

個人戦は、男子75kg級の小野選手が大会直前のケガのために欠場した。90kg級の伊藤選手は払腰や内股を駆使して危なげなく勝ち上がったが、決勝で終了間際に隙をつかれて技ありを許し、昨年に引き続き準優勝という結果になった。90kg超級の鬼塚選手は1回戦を払腰で勝利したが、次の準々決勝で得意の払腰で投げることができず、体落で敗れてベスト8だった。女子63kg級の八田選手は、初めての試合で緊張しながら臨んだ1回戦で、上の学年の選手相手に果敢に挑むも横四方固で抑え込まれ敗北した。

男子団体戦は、個人戦の小野選手、伊藤選手、鬼塚選手の3名でチームを組んでいたが、小野選手が欠場したため2名で試合に臨んだ。先鋒の伊藤選手も次鋒の鬼塚選手も危なげなく早々に勝利を決めたが、中堅、副将、大将で不戦敗となったため1回戦敗退となった。

どの選手も自身の持てる力を最大限引き出して戦っており、たとえ結果に結びつかなかったとしても、選手にとっては今後に繋がる有意義な大会だったと思われる。

### 【県民総合スポーツ大会】

今年度の県民総合スポーツ大会も昨年度と同様に戸田翔陽高校で9月30日(土)に開催する予定であったが、出場予定の選手が男女各1名で試合が行えないため、協議の結果、中止することになった。





(専門委員長 木村 朋行 戸田翔陽高等学校)

## カ 剣道

(ア) 期間 8月7日(月)

(イ) 会場 日本武道館

(ウ) 成績

〈男子団体戦〉

〈埼玉県選抜〉 3位

予選リーグ 2勝

3(6)―0(0) 愛知県

3(6)―1(3) 滋賀県

決勝トーナメント

準々決勝 1(4)―1(3) 茨城県

準決勝 0(1)―4(8) 神奈川県B

〈女子団体戦〉

〈埼玉県選抜〉 3位

予選リーグ 3勝

3(5)―0(0) 富山県

2(4)―0(0) 愛知県

2(4)―0(0) 兵庫県B

決勝トーナメント

準決勝 1(2)―1(3) 福岡県

〈男子個人戦〉

高木 鴻如(大宮中央単定) 1回戦敗退

大野 寛貴(霞ヶ関) 2回戦敗退

田崎 優斗(戸田翔陽) 3回戦敗退

梅原 誠斗(霞ヶ関) 3回戦敗退

〈女子個人戦〉

福島 珠々(大川学園) 準優勝

宮島 舞子(大宮中央通信) 1回戦敗退

高田 美咲(戸田翔陽) ベスト16

角田 結菜(大宮中央単定) ベスト16

全日制剣道部やさまざまな先生方の協力を得て、全国大会前に6回の強化練習会を行った。

男子団体は、3年ぶりの入賞を目指し選手たちが一致団結し、試合に向かう姿が見られた。選手たちは気迫あふれる試合を展開し、見事3位入賞を果たすことができた。

女子団体においては、昨年悔しい3位入賞となったので、今年こそはという気持ちをもって試合に挑んだ。

選手たちは一生懸命取り組んだが、あと1歩及ばず、今年も悔しい3位という結果になった。また、女子個人では昨年に引き続き、福島珠々選手(大川学園)が準優勝に輝いた。

今年度の悔しい思いをした部分もあったが、男女共に入賞をすることができた。来年度も男女ともに入賞を目標に、各校の顧問の先生方にご協力をいただき、部員の確保と剣道の理念に基づいた人間形成に努めていきたい。



(専門委員長 伯耆田 茜 羽生高等学校)

## キ バレーボール競技

(ア) 期間 8月1日(火)～8月5日(土)

(イ) 会場 ひらつか サン・ライフアリーナ

トッケイセセキュリティ平塚総合体育館

(ウ) 成績

<男子>

戸田翔陽 ベスト32

予選グループ戦

1回戦 対 向陽台生蘭 (神奈川) 2-1

決勝トーナメント

1回戦 対 浅草 (東京) 1-2

<女子>

吹上秋桜 ベスト16

予選グループ戦

1回戦 対 有朋 (北海道) 2-1

決勝トーナメント

1回戦 対 有朋 (北海道) 2-1

2回戦 対 天理 (奈良) 1-2

#### 【埼玉県定通総体兼全国定通大会県予選会】

本年度の全国定通大会予選は、男子は3チーム参加のリーグ戦形式で、男子は戸田翔陽が優勝し、県代表の座を勝ち取った。女子は1チーム参加の申し込みであったため、エントリーのあった吹上秋桜が優勝となった。戸田翔陽男子は12年連続12回目、吹上秋桜女子は3年連続3回目の大会出場となった。

#### 【全国高等学校定時制通信制体育大会】

今年度も昨年に続き、予選グループ戦と決勝トーナメントが実施された。

男子は、予選グループ戦で神奈川県代表の向陽台生蘭高校と対戦し、2-1で勝利し、決勝トーナメントへ駒を進めた。決勝トーナメント1回戦では、東京都の浅草高校と対戦し、サーブで連続得点を獲得し、1セットを先取する。2セット目も中盤までリードをしていたが、終盤で逆転され、2セット目を落とし、そのまま3セットも取られ、1-2で敗退した。結果としては、ベスト32となった。

女子は、予選グループ戦で北海道の有朋高校と対戦した。お互いのエースの力が拮抗しており、最後までどちらに試合が転ぶかわからなかったが、吹上秋桜が2-1で勝利し、決勝トーナメント進出を決めた。決勝トーナメントでは北海道代表の有朋とまた対戦することになった。一度勝利した相手に負けれないというプレッシャーがあったが、2-1で勝利し、ベスト16進出を決めた。続いて、前回の優勝校である天理高校と対戦した。優勝校を相手に1セット目を先取し、2セット目は惜しくも落とすも、第3セットは途中まで13対7でリードしていたが、逆転され、1-2で敗退した。天理高校はそのまま優勝した。他の試合では1セットも落とさず、1セットを奪ったのは吹上秋桜だけだった。

選手たちは全国のトップクラスの選手たちのプレーを肌で感じる事ができた。敗退こそしたものの大きな収穫のある大会になったと思う。

#### 【県民総合スポーツ大会】

全国大会予選と同様に、男子は3チーム参加のリーグ戦形式で行われた。女子は1チーム参加の申し込みであったため、エントリーのあった吹上秋桜が優勝となった。全国大会を経験した戸田翔陽が、危なげなく勝利し、優勝した。次の新人大会は白熱した試合になることを期待したい。



(専門委員長 岡本 直哉 吹上秋桜高等学校)

#### ク サッカー

##### 【埼玉県定通総体兼全国定通大会県予選会】

5月21日から6月11日にかけて開催された。今年度から3枠となった全国大会出場枠を争い、県内計7チームが参加した。ベスト4に残ったのは、日々輝学園・クラークさいたま・狭山緑陽・吹上秋桜の4チームであった。そのうちクラークさいたまと吹上秋桜の2チームが決勝戦へ進出し、全国大会への出場を決めた。勝てば全国大会出場が決まる3位決定戦では、日々輝学園と狭山緑陽が対戦した。選手層の厚さで上回る日々輝学園が5対0で勝利した。決勝戦では吹上秋桜が勝利し、埼玉県第一代表となった。

##### 【全国高等学校定時制通信制体育大会】

7月29日から8月1日にかけて静岡県にて開催された。日々輝学園は、兵庫県代表の飾磨工業と対戦し0対2で

敗れた。クラークさいたまは、静岡県代表の静岡中央と対戦し、0対7で敗れた。吹上秋桜は、愛知県代表の豊橋工科と対戦し、2対1で勝利し1回戦を突破したが、2回戦は東京都代表一橋高校と対戦し、1対2で敗退した。

**【県民総合スポーツ大会】**

9月17日から10月15日にかけて開催された。今大会では計7チームが参加し、1枠の関東大会出場枠を争った。定通総体同様、日々輝学園・クラークさいたま・狭山緑陽・吹上秋桜の4チームがベスト4へ進出し、日々輝学園・吹上秋桜の2校が決勝進出を果たした。決勝は、日々輝学園が8対0で勝利し、関東大会出場権を獲得した。日々輝学園は、12月2・3日に行われる関東地区高等学校定時制通信制サッカー大会に出場予定である。

今年度、県内で行われた2大会では、日々輝学園・吹上秋桜・クラークさいたま・狭山緑陽の4校がベスト4となった。実は、ここ3年間この状況は変わっていない。どの学校も部員が減少し、出場するので精いっぱいといったところが本音である。全国大会では3チームが出場したが、芳しい結果は残せなかった。ここ数年、全国と比較してレベルの差を痛感させられる状況が続いている。この状況を打破するには、県内大会の質の向上が急務である。合同チームも含めて、多角的な形で大会へ参加してもらい、チーム数を確保したい。より多くの選手に実戦経験を積ませて、より多くの選手に対して試合勘を身につけさせ、サッカーの理解度を向上させていく必要がある。指導者間で一丸となり、よりよい活動をしていきたいと考えている。



(専門委員長 上鶴 翔平 狭山緑陽高等学校)

**ケ バスケットボール**

**【埼玉県定通総体兼全国定通大会県予選会】**

＜男子＞	＜女子＞
優勝 春日部	優勝 狭山緑陽
準優勝 狭山緑陽	準優勝 戸田翔陽
3位 松栄学園	3位 クラーク所沢
川口市立	川口市立

コロナ感染対策も行い、有観客で実施。大会後の感染等の報告も無かった。コロナ明けの大会となり、大会は賑やかな雰囲気で見ることができた。

**【全国高等学校定時制通信制体育大会】**

＜男子 春日部高校＞

初戦は8月3日（木）、対戦校は島根県代表宍道高校でした。生徒は、初の大舞台に緊張しており、相手校生徒の身長の高さに不安を感じていましたが、自分たちなりに身長の高さをカバーする作戦を考え、試合に臨みました。第1クォーターから順に、25—8、14—16、17—2、22—0で試合をすすめ、最終スコア78—28で勝利しました。

翌日8月4日（金）、2回戦の対戦校は京都府代表清明高校でした。第1クォーターでは25—13とリードしましたが、その後徐々に点差を縮められ、最終スコア74—78で敗退しました。試合後のミーティングにおいて悔しさをにじませていたが、とても良い経験ができたと感じる。

＜女子 狭山緑陽＞

- 1回戦 対 長野商業（長野県）不戦勝（対戦校辞退）
- 2回戦 対 天理高校（奈良県）敗退

第1ピリオドは良い戦い方をしたが、第2ピリオドからシュートを決めることができなかった。シュートまで持っていくことは何度も出来ているのだが、得点につながらなかった。普段の練習では、シュートを決めることが出来る分、悔やまれる。タイミングを変えてのシュー

トを試みても流れを変えることができなかつた。やはり強豪校相手のプレッシャーも生徒たちは感じていたはずである。しかし、生徒たちは最後まで諦めず、仲間同士で励まし合い、1点でも多く取ろう！という声掛けや姿勢が見られた。試合には負けたが嬉し涙を流していた。スポーツの素晴らしさを実感した。

【県民総合スポーツ大会】

＜男子＞	＜女子＞
優勝 春日部	優勝 松栄学園
準優勝 朝霞	準優勝 狭山緑陽
3位 越ヶ谷	3位 クラーク所沢
松栄学園	合同チーム

コロナ感染対策も行い、全国予選と同様に有観客で実施。インフルエンザ等で心配もあったが無事大会を終えることができた。

(専門委員長 竹内 勇祐 大宮工業高等学校)

コ バドミントン

【埼玉県定通総体兼全国定通大会県予選会】

(ア) 期間：6月4日(日)・11日(日)  
 (イ) 会場：埼玉県立戸田翔陽高等学校  
 (ウ) 成績

＜男子シングルス＞  
 第1位 崔 世航(戸田翔陽)  
 第2位 押田 黎斗(武蔵野星城)  
 第3位 小澤 暖人(クラークさいたま)  
 第4位 大町 輝空(武蔵野星城)

＜女子シングルス＞  
 第1位 高橋 妃菜花(大宮中央単定)  
 第2位 山本 麗香(川口市立)  
 第3位 山本 彩香(川口市立)  
 第4位 梅澤 愛佳(戸田翔陽)

※ダブルス：実施せず

【第25回全国高等学校定時制通信制バドミントン大会】

(ア) 期間：8月15日(火)～18日(金)  
 (イ) 会場：小田原アリーナ  
 (ウ) 成績

＜男子＞  
 団体戦：ベスト16  
 個人戦：崔 世航(戸田翔陽) 3回戦敗退  
 押田 黎斗(武蔵野星城) 1回戦敗退

＜女子＞  
 団体戦：3位  
 個人戦：高橋 妃菜花(大宮中央単定) 優勝  
 山本 麗香(川口市立) 2回戦敗退

【第36回県民総合スポーツ大会】

(ア) 期間：9月24日(日)・10月1日(日)  
 (イ) 会場：埼玉県立吉川美南高等学校  
 埼玉県立戸田翔陽高等学校  
 (ウ) 成績

＜男子シングルス＞  
 第1位 石金 陸斗(大宮中央通信)  
 第2位 崔 世航(戸田翔陽)  
 第3位 坂井心太郎(大宮中央通信)  
 小澤 暖人(クラークさいたま)

＜女子シングルス＞  
 第1位 小山 美桜(大宮中央単通)  
 第2位 山本 彩香(川口市立)  
 第3位 山本 麗香(川口市立)  
 土橋レオナ(浦和一女)

＜男子ダブルス＞  
 第1位 崔 世航・常 凱超(戸田翔陽)  
 第2位 久本 宇翔・大野 颯太(小川)  
 第3位 大町 輝空・押田 黎斗(武蔵野星城)  
 石塚 優斗・笹尾 偉人(久喜)

＜女子ダブルス＞  
 第1位 山本 彩香・山本 麗香(川口市立)  
 第2位 梅澤 愛佳・大作みゆう(戸田翔陽)  
 第3位 緑川 美琴・名田部優希(吉川美南)  
 カンテラス ユリアン・濱野 結愛(狭山緑陽)

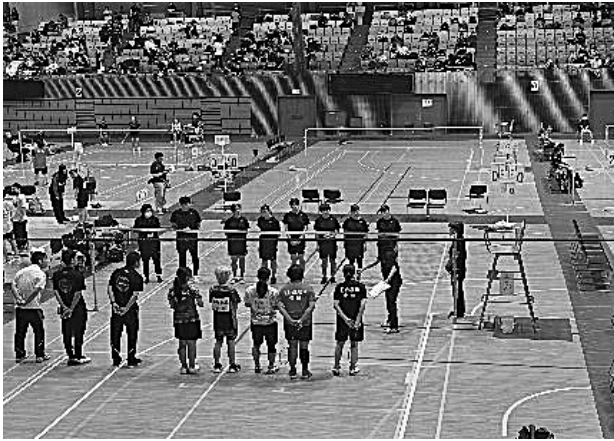
【所感】

全国大会では、女子個人戦優勝、女子団体3位など素晴らしい結果を残すことができた。

今年度も、昨年度に続き大会参加者数が増加しており、今後の盛り上げりに期待したい。



男子団体(全国大会)



女子団体（奥が埼玉代表）

（専門委員長 皆川 陸 越ヶ谷高等学校）

### 3 教育長表敬訪問

#### (1) 表敬訪問日

令和6年2月6日（火）

#### (2) 表敬訪問予定生徒

##### 【優勝】

長原 勇輝（狭山緑陽）

陸上競技（男子400m H）

高橋 妃菜花（大宮中央単定）

バドミントン（女子個人戦）

##### 【準優勝】

福島 珠々（大川学園）

剣道（女子個人戦）

##### 【第3位】

鬼木 マルコアントニオ（狭山緑陽）

陸上競技（男子4×400m R）

田崎 優斗（戸田翔陽）

剣道（男子団体戦）

瀧島 由佳（清和学園）

ソフトテニス（女子団体戦）

馬場 菜々美（大宮中央単通）

卓球（女子団体戦）

山本 麗香（川口市立）

バドミントン（女子団体戦）

高田 美咲（戸田翔陽）

剣道（女子団体戦）

結びに定通高体連の益々の発展と、今回このような教育長表敬訪問という機会を与えていただいた県教育委員会並びに各関係機関の皆様の御配慮に心から感謝申し上げます。

\*教育長表敬訪問は、降雪のため中止になりました。

（定通部筆頭副部長 小茂田 佳郁）

